

日本初の保育絵本「キンダーブック」の研究:戦後 10 年の歩み

進藤令子

A study of Japan's first childcare picture book "Kinderbook": progress in the 10 years since the war

Reiko SHINDO

はじめに

1927(昭和2)年11月、「観察絵本キンダーブック」(第1篇 お米の巻)が株式会社フレーベル館より日本で初めての保育絵本として創刊され、2022(令和4)年11月、創刊95年を迎えた。幼稚園や保育園への直接販売という独自の販売ルートを開拓して、創刊から一貫して同一の出版社である株式会社フレーベル館が刊行している。

1冊毎にテーマ(主題)を設定して、幼児のものの見方・行動規範と制作者である大人の求めるもの(社会・生活・文化に対する見方等)が雑誌の基本的性格となり、「観察絵本」として事実をありのままに描く姿勢に基づいて、作品の内容に反映されている。

同誌は戦前から現在まで継続して当時子どもたちに読み継がれてきた国内唯一の保育絵本であり、日本の幼児教育史の上で、大きな役割を果たしてきた。

この全国子どもたちに親しまれた「キンダーブック」の出版には、静岡県ゆかりの人物が大きく関わり刊行されたことについて、紹介する。

「日本のフレーベル」と呼ばれる静岡市鷹匠町出身の倉橋惣三[1882(明治15)年～1955(昭和30)年]である。倉橋は1928(昭和3)年3月発行の2編「乗物の巻」より編集顧問となり、1946(昭和21)年8月20日の戦後の復刊・第1号「ムギ」から1955(昭和30)年6月発行の第10集3編「あめのちびちゃんたち」まで、戦前から戦後まで「キンダーブック」編集に継続して携わり、日本の幼児教育の振興に貢献した。

当稿では、創刊から戦後復刊までの同誌の歩みと戦後の日本の混乱期から復興期[1946(昭和21)年～1956(昭和31)年]までの戦後10年間の誌面の特色について考察する。

今後、倉橋が「キンダーブック」で担当した内容や出身地である静岡市より創刊された幼児絵本「あそび」についても考察する予定である。

筆者所属の地域連携推進センターでは、研究成果の地域公開事業として2022(令和4)年から2023(令和5)年に下記の幼児(児童)絵本展を開催した。

【2022(令和4)年度】

- ・静岡ゆかりの幼児絵本で見る時代展

会場：静岡英和学院大学

- ・静岡ゆかりの幼児絵本キンダーブック展

会場：富士市立中央図書館

- ・キンダーブックと昭和の子ども展

会場：牧之原市立図書交流館

【2023(令和5)年度】

- ・静岡発 戦後の子ども雑誌展

会場：静岡市立中央図書館

1. 「キンダーブック」の歩み(戦前)

同誌の創刊からの歩みを社会情勢と共に記載する。1926(大正15)年4月21日、幼稚園の創始者であるドイツの教育学者であるフリードリッヒ・フレーベル(1782年～1852年)生誕の日に、「幼稚園令」が公布され、翌22日「幼稚園施行規則」が制定され、従来の「遊戯、唱歌、談話、手技」の4保育項目に新たに「観察」の項目が加えられたことにより「観察」は関心と呼び、1927(昭和2)年5月、株式会社フレーベル館の新たな事業として「観察絵本」発刊が計画され、幼児用教育絵本として創刊された。

株式会社フレーベル館創業者である高市次郎[1876(明治9)年～1957(昭和32)年 愛媛県温泉郡小野村出身]は絵本創刊の意図を次のように述べている。

「幼児教育界の権威岸辺福雄先生編集指導のもとに、種々の点に新機軸を出し、真に本誌の使命を完ふしたいと記している。文字を自由に読むことの出来ない幼児の為に、絵画を以て描かれたる、統一あり、連絡ある一冊の単行書籍である。新幼稚園令の観察項目の加へられたるを機として弊社は此の新計画を発表し、謹みて大分斯界に捧げたいと思ふ」(「幼稚園用品目録」昭和2年度)

- ・1928(昭和3)年3月2編「乗物の巻」発行
2編から倉橋が編集顧問となった。
- ・1932(昭和7)年4月「ツバメノオウチ」創刊
「ツバメノオウチ」は今日まで継続されている。
- ・1941(昭和16)年5月出版物の一元的配給機関と日本出版配給株式会社が設立、「キンダーブック」直販方式は解体
- ・1941(昭和16)年11月1日
「株式会社フレーベル館」を「株式会社日本保育館」と改称
- ・1941(昭和16)年12月8日 太平洋戦争勃発
- ・1942(昭和17)年4月「観察絵本キンダーブック」、
「観察絵本ミクニノコドモ」と改題
- ・1943(昭和18)年3月 日本出版文化協会解散、日本出版会設立、11月情報局は出版事業整備要綱を発表、日本出版会に実施を命令
- ・1943(昭和18)年
「ボクラモシグン」(第16集3編)より誌型が縮小され、「タタカフカイグン」「五ツノタカラ」「キカラフネへ」といった戦争や生産が主題となった。
- ・1944(昭和19)年1月26日
「セキタンヲホルヒト」(第16集11編)を最後に、「観察絵本ミクニノコドモ」終刊
- ・1944(昭和19)年6月
株式会社フレーベル館会長高市次郎 静岡市鷹匠町に疎開、同社社長高市慶雄 静岡市大岩に疎開
この高市の静岡市疎開は、同社員の佐伯政治[同社勤務:1921(大正10)年~1943(昭和18)年 株式会社フレーベル静岡創業者:静岡市]との交流で疎開先にしたことが推測される。
高市は、1945(昭和20)年6月19日~20日の静岡市空襲により被災し、中川根町に再疎開をして終戦を迎える。

2. 「キンダーブック」の歩み(戦後)

同誌の戦後の歩みを社会情勢と共に記載する。

- ・1945(昭和20)年8月15日 戦争終結
- ・1945(昭和20)年9月10日 GHQ(連合国軍総司令部)、日本政府に対し「言論及び新聞の自由に関する覚書」を発令
- ・1945(昭和20)年9月27日 GHQ(連合国軍総司令部)、日本政府に対して「新聞及び言論の自由への追加措置に関する覚書」を指令
- ・1945(昭和20)年9月30日 日本出版会解散
- ・1945(昭和20)年10月6日 出版事業令、同施行規則廃止
- ・1946(昭和21)年1月30日 「株式会社日本保育館」、「株式会社フレーベル館」に社名変更
- ・1946(昭和21)年6月22日 朝日新聞に「幼児の夢明るく正しく美しい観察絵本キンダーブック(再刊)6月号ムギの巻、7月上旬発売部数限定至急ご予約」と広告を載せる。
- ・1946(昭和21)年8月20日 「観察絵本キンダーブック」第1集1編「ムギ」復刊
復刊にあたり、倉橋は巻頭に「新しいもの~キンダーブックの再刊~」を掲げ、次の様に述べている。
「散った後に、落ちた後に、古い根から新芽がふく。新しい種子に、前とは別な花と実が待たれる。その更生の気は勇ましく、成長の力は逞しい。今や初夏の自然がそれであり、立ち上がる国の勢がそれだ。その大きい勢に推されて、幼い子らの園に蘇るキンダーブックの再刊も亦、その一つである。まえからの親しみをつづけて頂きたいし、これからの新らしみを期待しても頂きたいし。新しいものによってこそ、子らを新らしくし、国を新らしくしてゆけるのであるから。培おう培おう。幼い子らの園に。」
- ・1947(昭和22)年3月31日
「学校教育法」(幼稚園令廃止、六三三四制を規定)公布、4月1日新学制実施
- ・1947(昭和22)年4月
「ようちえん」(第集1編)から国民学校に合わせ、この号よりひらがなを使用。
同年10月号(第2集7編)「ありがとう」、1948(昭和23)年2月号(第2集11編)「やさしいおかあさん」から社会に目を向けた内容となっている。
また、株式会社フレーベル館より、戦後間もない1947(昭和22)年5月、絵本「マッカーサー元帥」

(山崎一芳企画)が発行された。

この「マッカーサー元帥」は、無血革命を行った恩人として元帥を讃える内容となっている。

日本の敗戦後、「キンダーブック」の出版社である株式会社フレーベル館の取締役として企画した山崎一芳[1900(明治33)年～没年不明]は、掛川市出身のジャーナリストとして東京で活躍した人物であり、同社役員として、GHQ(連合国軍総司令部)より戦後いち早く復刊を許可された「キンダーブック」出版に大きく関わった静岡県ゆかりの人物でもある。

絵本が発行された1947(昭和22)年5月は、日本国憲法が施行された日(5月3日)であり、日本は天皇主権から国民主権に生まれ変わった時期である。

- ・1947(昭和22)年12月12日「児童福祉法」公布
- ・1948(昭和23)年「保育要領幼児教育の手びき」刊行
- ・1948(昭和23)年GHQ(連合国軍総司令部)渉外局、「キンダーブックはアメリカにおいても類誌のない独自のものである」と発表

3. 戦後10年の「キンダーブック」の内容について

1946(昭和21)年8月号～1956(昭和31)年3月号までの「キンダーブック」112冊の内、72冊(本学キンダー文庫、筆者所蔵分)を対象として、紙面に登場した内容(絵、および文)を調べ、読者である幼児、保護者に対しての編集者の意図について考察する。

(1) 仕事(職業)について

仕事について記載があった作品は、72作品中45作品(62.5%)であった。下記の11作品は様々な仕事(職業)、特定の仕事(職業)の特集号となっている。

1. 第1集1編(1946年8月)「ムギ」:農家(ムギ作り)
2. 第2集7編(1947年10月)「ありがとう」:郵便屋さん、消防のおじさん、こうつうせいりのおまわりさん、バスのしゃしょうさん、リヤカーで荷物を運搬している人、幼稚園の先生、道普請の工夫さん
3. 第2集6編(1947年9月):農家(お米)
4. 第2集10編(1948年1月):農家(みかん)
5. 第3集4編(1948年7月):農家(さつまいも)
6. 第3集8編(1948年11月)「おまわりさん」:
おまわりさん、こうつうじゅんさ
7. 第3集11編(1949年3月)「はなうりおじさん」:
はなうりおじさん、踏切のおじさん
8. 特集号(1949年4月)「たのしい汽車」:駅で働く人々

9. 第5集4編(1950年7月)「ゆうびん屋さん」:
ゆうびん屋さん

10. 第5集8編(1950年11月)「わたくしたちのために」
ぎゅうにゅうやさん、こうつうせいりのおまわりさん、しんたいけんさのせんせい、おひやくしょうさん、せんどうさん、こうえんのおじさん、しょうぼうさん

11. 第7集9編(1952年12月)「すみ」:まちのすみやさん、むらのすみやきさん

掲載された仕事(職業)では、45作品の内、農家(おひやくしょうさん)や果樹園栽培(さくらんぼ畑、りんご畑、みかん畑、なし畑)等、農業・林業・漁業の第1次産業従事者の掲載は、28回(62.2%)であった。

登場回数が上位のものは、5回:警察官(おまわりさん、こうつうじゅんさ)、3回:郵便局員(ゆうびん屋さん)、消防署員(しょうぼうのおじさん、しょうぼうかんしいん、しょうぼうさん)、2回:駅員となっていた。

その他は、バスのしゃしょうさん、幼稚園の先生、道普請の工夫さん、港の運び屋さん、はなうりおじさん、とりやさん、動物園の飼育員、くだものやさん、りんご売りのおじさん、トラックの運転手、船頭さん、船員さん(船乗り)、粉屋、肉屋、靴屋、果物の店屋、鉄道で働くひとたち(駅員、機関士、線路工手、電力工手、検査係、操車係、踏切警手)、電気機関車運転手、歯医者さん、とこやさん、とうだいきんむのおじさん、とけいやさん、かんごふさんが描かれた。

記載されていた仕事(職業)は、子どもたちの日常生活、家庭生活、通園路で普段子どもたちが見かける身近な仕事(職業)に従事する人たちが描かれ、当時食糧問題が大きな関心時であったため、農業従事者(ムギや米作り等)が多く描かれている。

また、女性の仕事はかんごふさんが描かれているのみで、女性は家庭で働くお母さんの生活が主に描かれているのもこの時代の特色として見られる。

(2) 外国について

外国について記載があった作品は、72作品中13作品(18%)であった。

記載のあった作品は下記のとおりである。

1. 第1集1編(1946年8月)「ムギ」:アメリカ
2. 第1集3編(1946年11月)「オヒサマノコドモ」:
アメリカ(タイトル英語表記:the Sun and children)
3. 第2集2編(1947年4月)「たんぼぼ」:外国(国名なし)

4. 第2集4編(1947年7月)「とうだいのこども」：
アメリカ
5. 第2集10編(1948年1月)「みかん」：アメリカ
(サンフランシスコ、シアトル)
6. 第2集11編(1948年2月)「やさしいおかあさん」：
イタリア(ローマ)
7. 第2集12編(1948年3月)「さくら」：アメリカ
8. 第3集2編(1948年5月)「ねことねずみ」：アフリカ
9. 第4集6編(1949年9月)「おつきさん」：てんじく
10. 特集号(1950年4月)「たのしい汽車」：アメリカ
11. 第6集6編(1951年9月)「きしゃごっこ」：アメリカ
12. 第7集8編(1952年11月)「マザーグース」：イギリス
13. 第8集4編(1953年7月)「たのしいふねのたび」：
アメリカ(ニューヨーク)、イギリス

記載された国別では、アメリカは13作品中、8作品(61%)であり、イギリスが2作品、イタリアが1作品、インドが1作品、アフリカが1作品であった。

終戦後、GHQ(連合国軍総司令部)の占領統治下にあり、当時の日本の政治、経済、教育文化、食糧まで全てがアメリカの影響下に置かれている状況のため、アメリカについて多く掲載されている。

(3) 子どものマナー、挨拶について

子どものマナー、挨拶が記載された作品は、72作品中17作品(23.6%)であった。

記載のあった主な作品は、下記のとおりである。

1. 第2集1編(1947年4月)「ヨウチエン」：
生活習慣の習得(手洗い、あいさつ、くつ履き、ぼうしを被る、手紙の受取(おれい)、幼稚園の引率(朝のあいさつ)
2. 第4集4篇(1949年7月)「おてがみ」：
おやくそく(てがみを書く)
3. 第4集9編(1949年12月)「ぼくのおうち」：
おでかけ(いってきます)
4. 第4集11編(1950年2月)「ふゆのこども」：
おやすみなさい
5. 第5集1編(1950年4月)「はるのおともだち」：
良い子のいちにち(いってまいります／はい
ぶらんこは かわりばん／おくつは ちゃんとげた
ばこへ／ごはんのまえに てをあらいましょう／
さようなら)
6. 第5集3編(1950年6月)「おひさま」：
ぼくたち おねぼうしませんよ

7. 第5集8編(1950年11月)「わたくしたちのために」：
ぎゅうにゅうやさん(ありがとう)
 8. 第8集6編(1953年9月)「せつけん」：
おててを きれいにあらいましょう／おふろのじかん(なかよくはいりましょう)
 9. 第9集1編(1954年4月)「はるがきた」：
しんごう きをつけましょう／ごあいさつをしまし
ょう／みんなで なかよくあそびましょう／
おてては きれいにあらいましょう
 10. 第9集3編(1954年6月)「じょうぶなこども」：
いつもうがい／おやゆび なめちやいけないよ／
おててをあらおう
 11. 第10集1編(1955年4月)「みんなでつくりましょう」：
かたづけ／あさのあいさつ おはようございます／
みんなで なかよく あそびましょう／くつは きち
んと げたばこへ／てを きれいにあらいましょう
／おうちに ついたら ごあいさつ／そとから かえ
って ごろごろうがい／しんごう くるまにきをつ
けて／あそんだあとは おかたづけ／よいこは
はやね
 12. 第10集2編(1955年5月)「ごがつ」：
わすれものはしないよう はんかち はながみ
おべんとう／おあそびは みんなといっしょに げん
きよく／よばれたら 「はい」とおへんじげんきよく
／ごはんのまえには てをあらいましょう／ごはん
のときのあいさつ いただきます ごちそうさま／
ありがとう ごめんなさい まちがいしたので
ごめんなさい／みちくさしないで おうちへまっす
ぐ／たのしい えんそく かみくずは くずばこへ／
よいこは にこにこ じょうぶなからだ
 13. 第10集3編(1955年6月)「あめのちびちゃんたち」：
ねるまえには きれいに はみがきしましょう／
わるい病気にかからぬよう よばうちゅうしゃを
いたしましょう／あめのひは あまぐのよういを
いたしましょう／たべすぎ のみすぎ しないよ
うに きをつけましょう／ねるときは ねまきに
きかえて ようふくを たたみましょう／おべんじ
よからでたら てをあらいましょう
- 子どものマナー・挨拶の特色は、子どもが日常生活で基本的に身に着けるべき生活習慣と集団生活を送る上での必要事項がわかりやすく具体的に簡潔に記載されているため、子どもたちにとって、理解しやすく、わかりやすい内容で描かれている。

(4) 子どもの遊びについて

子どもの遊びについて記載された作品は、72作品中37作品(51.4%)であった。

1. 第1集1編(1946年8月)「ムギ」:外遊び(縄跳び、かごめかごめ／三輪車／犬と遊ぶ)
2. 第1集3編(1946年11月)「オヒサマノコドモ」:外遊び(ザコスクヒ)
3. 第2集1編(1947年4月)「ヨウチエン」:外遊び(ままごと)
4. 第2集6編(1947年9月)「おこめ」:外遊び(いなごとり)
5. 第2集12編(1948年9月)「さくら」:外遊び(おゆうぎ)
6. 第3集3編(1948年6月)「せみのはなし」:外遊び(せみとり)
7. 第3集4編(1948年7月)「さつまいも」:外遊び(おいもやき)
8. 第3集10編(1949年2月)「はるがきた」:外遊び(すみれ・れんげ・つくしとり、おままごと)
9. 第4集4編(1949年7月)「おてがみ」:外遊び(ゆうびんごっこ)
10. 第4集5編(1949年8月)「うみのこども」:外遊び(かけっこ、海水浴、おさいく)
11. 第4集6編(1949年9月)「おつきさん」:室内遊び(折り紙)
12. 第4集9編(1949年12月)「ばくのおうち」:外遊び(たこあげ、なわとび、すもう、野球、かけっこ)
13. 第4集10編(1950年1月)「たのしいのりもの」:外遊び(スケート、三輪車、たこあげ、スキー)、室内遊び(おはなし)
14. 第4集第11編(1950年2月)「ふゆのこども」:外遊び(雪遊び、おしくらまんじゅう、ゆきがっせん、せみとり、はなび、かいすいよく)、室内遊び(すごろく、絵本読み聞かせ、こたつでおはなし)
15. 第5集1編(1950年4月)「はるのおともだち」:外遊び(すべり台、ぶらんこ、ジャングルジム、なわとび、砂遊び、野球、おどり、水遊び)
16. 第5集2編(1950年5月)「おかあさん」:室内遊び(あやとり)
17. 第5集3編(1950年6月)「おひさま」:外遊び(おゆうぎ)
18. 第5集8編(1950年11月)「わたくしたちのために」:外遊び(すべり台、ブランコ)
19. 第5集11編(1951年2月)「ゆきのひ」:外遊び

(ゆきなげ)

20. 第6集1編(1951年4月)「みんなたのしく」:室内遊び(つみき、うたをうたいましょう、にんぎょうあそび、かみしばい)
外遊び(はないちもんめ、のはらのはなあそび)
21. 第6集3編(1951年6月)「きのはなし」:室内遊び(つみき)
22. 第6集6編(1951年9月)「きしゃごっこ」:外遊び(きしゃごっこ)
23. 第6集8編(1951年11月)「くまのはなし」:外遊び(おすもう、さかなとり)
24. 第7集7編(1952年10月)「すずめ」:外遊び(おすべり、ぶらんこ、すなあそび、おにごっこ)
25. 第7集11編(1953年2月)「かわいいいぬ」:外遊び(ゆきなげ、さんぽ)
26. 第7集12編(1953年3月)「はるになる」:外遊び(おままごと)
27. 第8集1編(1953年4月)「おもしろいな」:外遊び(子をつる子捕:子どもの遊戯の一つ、ジャングルジム、すべり台、ゴム飛び、ぼーるおくり)
室内遊び(がくたいあそび)
28. 第8集5編(1953年8月)「なつやすみ」:外遊び(こどものあそびば、おやまのぼうけん)
室内遊び((げんとうかい、ほうずきのおにんぎょう、かぶとむしのきょうそう)
29. 第8集10編(1954年1月)「どうぶつのおしょうがつ」:外遊び(はねつき)、室内遊び(ふくわらい、かるたとり)
30. 第8集11編(1954年2月)「ゆきぐに」:外遊び(ゆきあそび、ゆきぞり、スキー、ままごと)
31. 第9集1編(1954年6月)「はるがきた」:外遊び(すべり台、ぶらんこ、ジャングルジム、ボールあそび、汽車ごっこ、砂遊び)、室内遊び(積み木あそび)
32. 第9集3編(1954年6月)「じょうぶなこども」:外遊び(トロッコあそび)
33. 第9集5編(1954年8月)「なつのむし」:外遊び(せみとり、みずすましとり)
34. 第9集10編(1955年1月)「こどものおしょうがつ」:外遊び(はごまつり)
35. 第10集1編(1955年4月)「みんなでつくりましょう」:外遊び(砂遊び)、室内遊び(お絵かき、積み木遊び、ひこうきの折り紙づくり)

36. 第10集5編(1955年8月)「なつやすみのかんさつ」：
外遊び(はっぱ遊び、かげふみ、おゆうぎ)
室内遊び(いろがみもざいく)

37. 第10集6編(1955年9月)「あきののやま」：
外遊び(ぶらんこ、なわとび、コマまわし、ボール
あそび)

上記37作品中、外遊びは34作品(91.8%)が掲載され、
室内遊びは11作品(29.7%)が掲載されていた。
子どもの遊びは、体を動かしながら心も成長させる効果
も期待できる外遊びが重点的に取り上げられていた。

おわりに

【「キンダーブック」の果たした役割について】

戦後10年間[1946(昭和21)年8月号～1956(昭和31)年
3月号]の「キンダーブック」の全体的特色は、現代の
様に幼稚園での生活を中心としたより限られた範囲で
の対象が描かれているのではなく、自分より目上の年
長の子どもや大人、高齢者を含めたより幅広い世代の
人たちの社会生活が多く描かれているため、社会生活
が自然と覚えられる様になっている。

また、外国の紹介ではアメリカについて特に多く掲載
されていることも時代を反映している。

戦後10年間の「キンダーブック」は、日本の幼児教
育に大きな役割を果たすと共に、現代の様に多様なメ
ディアがない時代にあつては、家庭で子どもと保護者
が一緒に当時の時代と世相を読み、学べるニュース性
を合わせ持つ総合情報誌的な役割も果たしていたと考
える。

【静岡県ゆかりの幼児絵本】

倉橋が関わった「キンダーブック」と同水準の幼児
絵本「あそび」が1948(昭和23)年6月、静岡市葵区の
株式会社片井商会より創刊された。[同社は1949(昭和
24)年7月、「あそび」発行権を財団法人恩賜財団静岡
県同胞援護会に無償譲渡]

この雑誌の創刊には、倉橋の協力があつたことが判明
している。

そして「あそび」の後継誌として、1954(昭和29)年4
月、株式会社片井商会の後継会社である静岡市葵区の
株式会社東邦出版より創刊された「フレンドブック」
および静岡県初の総合小学校副読本「1年の友」・「2
年の友」についても調査を進めており、調査結果の公
開を進めていきたい。

戦後10年の「キンダーブック」112タイトル
(72タイトルの調査を実施 ※印)

年月日	掲載号	タイトル
1946年8月	第1集1編	*ムギ 戦後復刊第1号
1946年10月	第1集2編	ウミトコドモ
1946年11月	第1集3編	*オヒサマノコドモ
1946年12月	第1集4編	*ハシレキカンシャ
1947年3月	第1集5編	フユノドウブツ
1947年4月	第2集1編	*ヨウチエン
1947年5月	第2集2編	*たんぼぼ
1947年6月	第2集3編	やさしいことり
1947年7月	第2集4編	*とうだいのこども
1947年8月	第2集5編	たのしいなつ
1947年9月	第2集6編	*おこめ
1947年10月	第2集7編	*ありがとう
1947年11月	第2集8編	うんどうかい
1947年12月	第2集9編	ゆきのおくに
1948年1月	第2集10編	*みかん
1948年2月	第2集11編	*やさしいおかあさん
1948年3月	第2集12編	*さくら
1948年4月	第3集1編	つばめさん
1948年5月	第3集2編	*ねことねずみ
1948年6月	第3集3編	*せみのはなし
1948年7月	第3集4編	*さつまいも
1948年8月	第3集5編	ぼくらのこうえん
1948年9月	第3集6編	おつきさんのたび
1948年10月	第3集7編	おちばとときのみ
1948年11月	第3集8編	*おまわりさん
1949年1月	第3集9編	*きしゃ
1949年2月	第3集10編	*はるがきた
1949年3月	第3集11編	*はなうりおじいさん
1949年4月	第4集1編	*こどもどうぶつえん
1949年5月	第4集2編	*とけい
1949年6月	第4集第編	あめ
1949年7月	第4集4編	*おてがみ
1949年8月	第4集5編	*うみのこども
1949年9月	第4集6編	*おつきさん
1949年10月	第4集7編	*あきのおやま
1949年11月	第4集8編	*りんご
1949年12月	第4集9編	*ぼくのおうち
1950年1月	第4集10編	*たのしいのりもの

日本初の保育絵本「キンダーブック」の研究:戦後10年の歩み(進藤令子)

1950年2月	第4集11編	*ふゆのこども
1950年3月	第4集12編	*どうさん
1950年4月	第5集1編	*はるのおともだち
1950年5月	第5集2編	*おかあさん
1950年6月	第5集3編	*おひさま
1950年7月	第5集4編	*ゆうびんやさん
1950年8月	第5集5編	あり
1950年9月	第5集6編	*いろいろなうち
1950年10月	第5集7編	おみせやさん
1950年11月	第5集8編	*わたくしたちのために
1950年12月	第5集9編	きもの
1951年1月	第5集10編	おしょうがつ
1951年2月	第5集11編	*ゆきのひ
1951年3月	第5集12編	おさるさん
1951年4月	第6集1編	*みんなのしく
1951年5月	第6集2編	おおきくなれつよくなれ
1951年6月	第6集3編	*きのはなし
1951年7月	第6集4編	おほしさま
1951年8月	第6集5編	うちのまわり
1951年9月	第6集6編	*きしゃごっこ
1951年10月	第6集7編	*みち
1951年11月	第6集8編	*くまのはなし
1951年12月	第6集9編	うちじゅうたのしく
1952年1月	第6集10編	おおきいな
1952年2月	第6集11編	ひのいろいろ
1952年3月	第6集12編	にんぎょうのくに
1952年4月	第7集1編	*はるのえんそく
1952年5月	第7集2編	うし
1952年6月	第7集3編	かわのたび
1952年7月	第7集4編	なつがきた
1952年8月	第7集5編	みつばちのくに
1952年9月	第7集6編	*スポーツ
1952年10月	第7集7編	*すずめ
1952年11月	第7集8編	*マザーグースこどものうた
1952年12月	第7集9編	*すみ
1953年1月	第7集10編	たのしいあそびうた
1953年2月	第7集11編	*かわいいいぬ
1953年3月	第7集12編	*はるになる
1953年4月	第8集1編	*おもしろいな
1953年5月	第8集2編	*うま
1953年6月	第8集3編	かえる
1953年7月	第8集4編	たのしいふねのたび

1953年8月	第8集5編	*なつやすみ
1953年9月	第8集6編	*せっけん
1953年10月	第8集7編	おいしいな
1953年11月	第8集8編	*ふゆがくる
1953年12月	第8集9編	くるみわり人形
1954年1月	第8集10編	*どうぶつのおしょうがつ
1954年2月	第8集11編	*ゆきぐに
1954年3月	第8集12編	*いきもの
1954年4月	第9集1編	*はるがきたきた
1954年5月	第9集2編	まわれまわれ
1954年6月	第9集3編	*じょうぶなこども
1954年7月	第9集4編	*うみのうた
1954年8月	第9集5編	*なつのむし
1954年9月	第9集6編	*おつきさま
1954年10月	第9集7編	*くだもの
1954年11月	第9集8編	がらす
1954年12月	第9集9編	三つのおはなし
1955年1月	第9集10編	*こどものおしょうがつ
1955年2月	第9集11編	*わたしはせきたん
1955年3月	第9集12編	*おやりすこりす
1955年4月	第10集1編	*みんなでつくりましょう
1955年5月	第10集2編	*ごがつ
1955年6月	第10集3編	*あめのちびちゃんたち
1955年7月	第10集4編	*さかな
1955年8月	第10集5編	*なつやすみのかんさつ
1955年9月	第10集6編	*あきののやま
1955年10月	第10集7編	れおちゃんのぼうけん
1955年11月	第10集8編	*でんき
1955年12月	第10集9編	おうち
1956年1月	第10集10編	おしょうがつ
1956年2月	第10集11編	きもの
1956年3月	第10集12編	つつ

【引用・参考文献一覧】

1. 「フレーベル館七十年史」株式会社フレーベル館
1977(昭和52)年
2. 「フレーベル館100年史」株式会社フレーベル館
2008(平成20)年
3. 「キンダーブック」株式会社フレーベル館
1946(昭和21)年8月号～1956(昭和31)年3月号

【所属】

地域連携推進センター参事(司書)